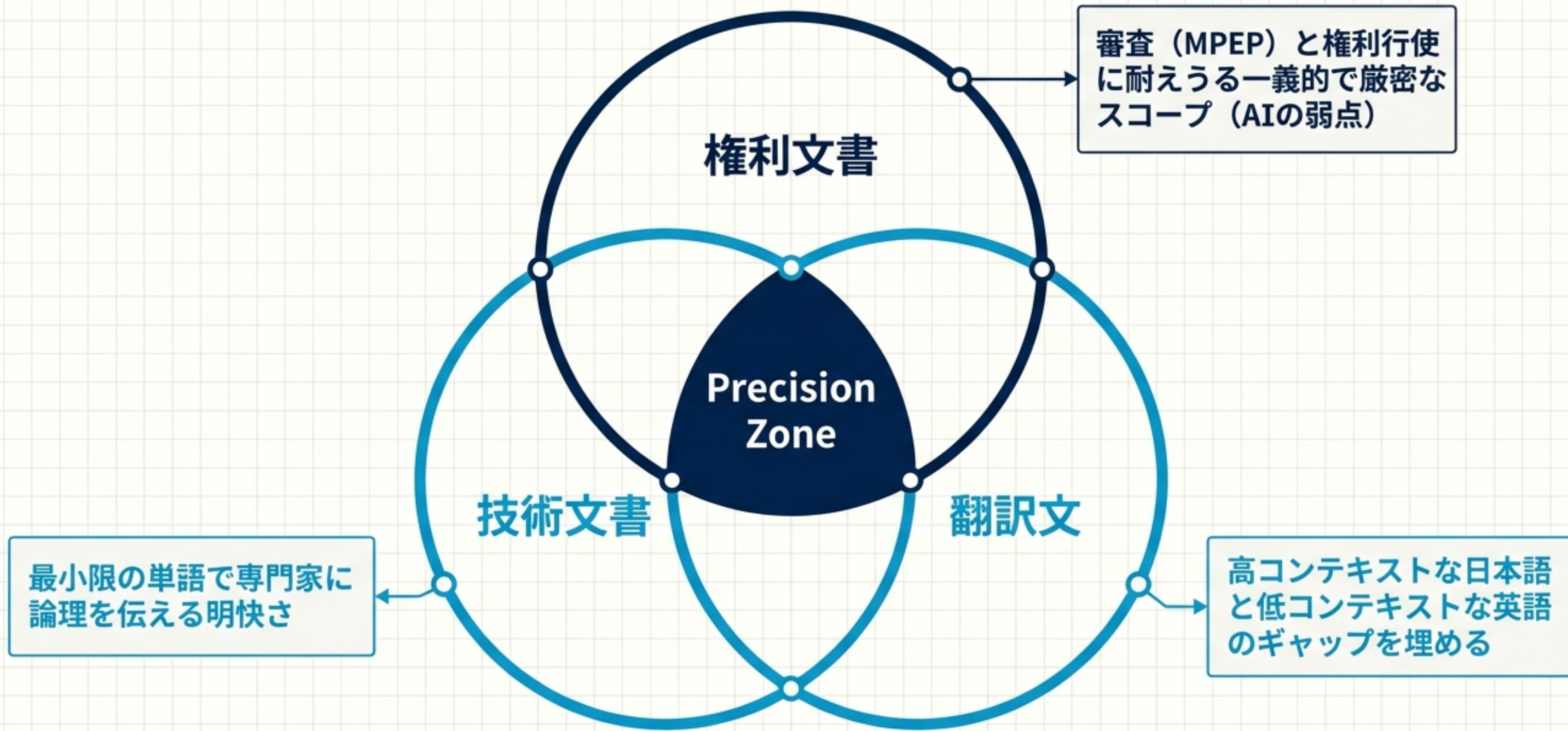
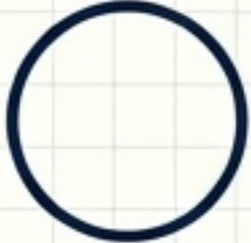


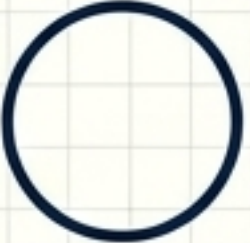
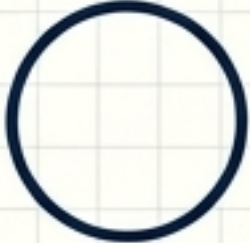


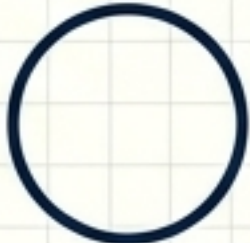
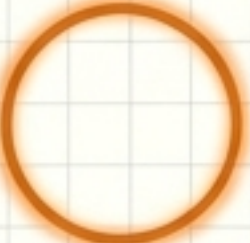
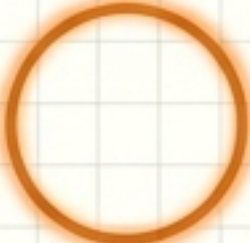







# AI時代の日英特許翻訳：完全自動化の罨 と品質担保のフレームワーク

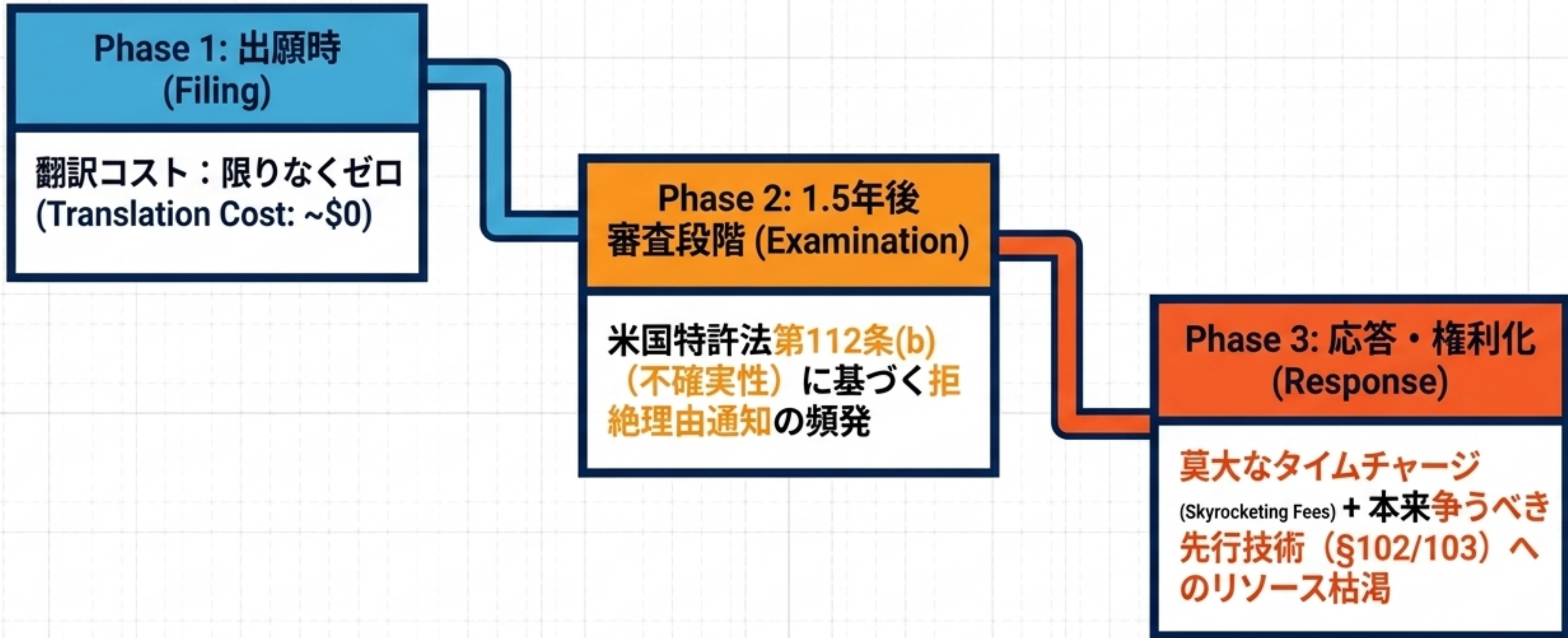
権利範囲を守るための「人間×AI」ハイブリッド戦略



**[KEY INSIGHT]** 生成AIは「翻訳」と「技術」の流畅さを最適化するが、戦略的な先見性が求められる「権利文書」としての視点を本質的に欠いている。

	流暢さ (Fluency)	抜け漏れ防止 (Omission Control)	表現の一貫性 (Consistency)	法的意図の 反映 (Legal Strategic Intent)	MPEP準拠 (MPEP Compliance)
DeepL (NMT / ルールベース)					
Gen AI (ChatGPT/Claude)					
専門翻訳者 (Human Expert)					

AIは「帰国子女の小学生」。英語は完璧だが、特許というビジネス上の重大な法的判断（執行）を委ねることはできない。



**[THE HIDDEN COST]**  
初期翻訳費用を1,000ドル削減した結果、無意味な方式拒絶の対応に10,000ドルの米国弁護士費用を投じ、さらに特許の権利範囲まで縮減するリスクが生じる。

Code Diff

SOURCE

前期圧接端子

AI OUTPUT

the solderless terminal



先行詞欠落 (Missing Antecedent Basis) による論理破綻。112条(b) 拒絶リスク。

EXPERT OUTPUT

each solderless terminal

the plurality of  
solderless terminals

at least one of the...

診断：AIは統計的に最も一般的な表現 (the + 単数) を選ぶ。  
専門家は、明細書の意図に基づき「法的スコープを最大化する数」を戦略的に選択する。

# 「圧力変化を行うことを考慮し、バルブを設ける」

## AI Translation

...in consideration of performing a pressure change...



非機能的・不明確

## Expert Translation

...a valve to allow the ... regulator to change the pressure...



機械的な動作の明確化

診断：直訳の罠。AIは「単語」を翻訳するが、専門家は「機械的な意図と構造」を翻訳する。

The patent background  
Conventional in  
That the relate  
application to  
to system.  
in process

Both emp  
authorit  
are call  
at avacu  
conventio  
late the  
or moter a  
previsile,  
umpid  
the daily mosra

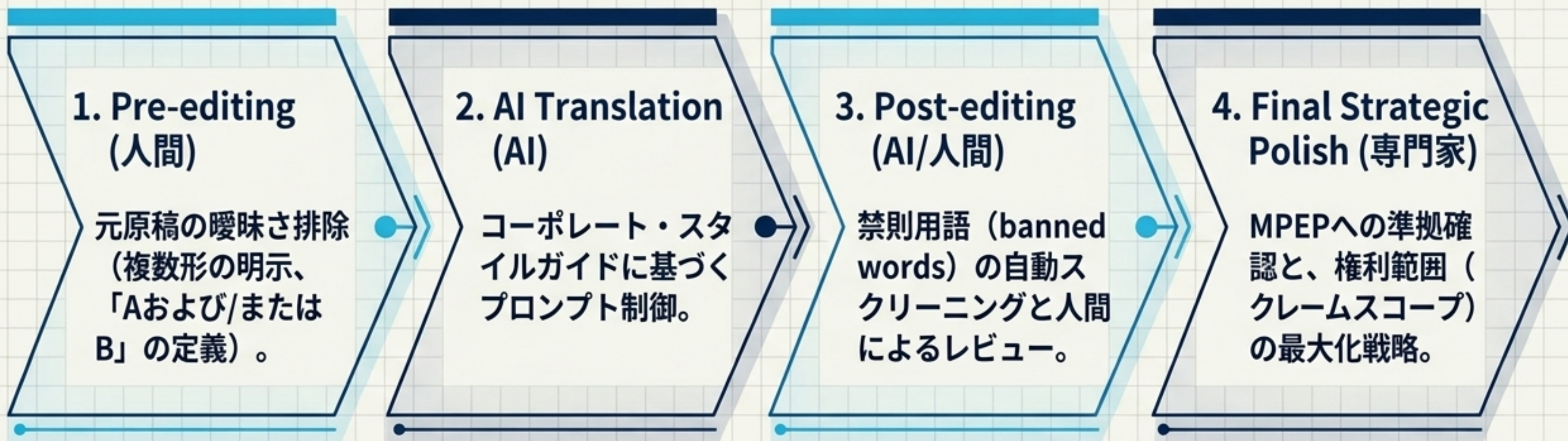
Conventional avoid  
in the related art. There  
art, there is known...

## [LEGAL RISK] 自認した先行技術 (Admitted Prior Art)

- AIは背景技術セクションを学術論文の序論のように流暢に翻訳する。
- しかし、米国特許実務においてこれらの表現を無自覚に用いると、出願人自らが先行技術の存在を法的に認めたと解釈され、新規性・進歩性の判断で致命的な不利を被る。

# [FRAMEWORK]

## 「人間+AI」ハイブリッド・ワークフロー設計





### 用語定義 (Vocabulary)

指定用語、および使用禁止用語（例: 曖昧性を生む about, near, set）。

### 文法規則 (Grammar)

comprising (オープンエンド) と consisting of (クローズド) の厳格な使い分け。

### 構文ルール (Structure)

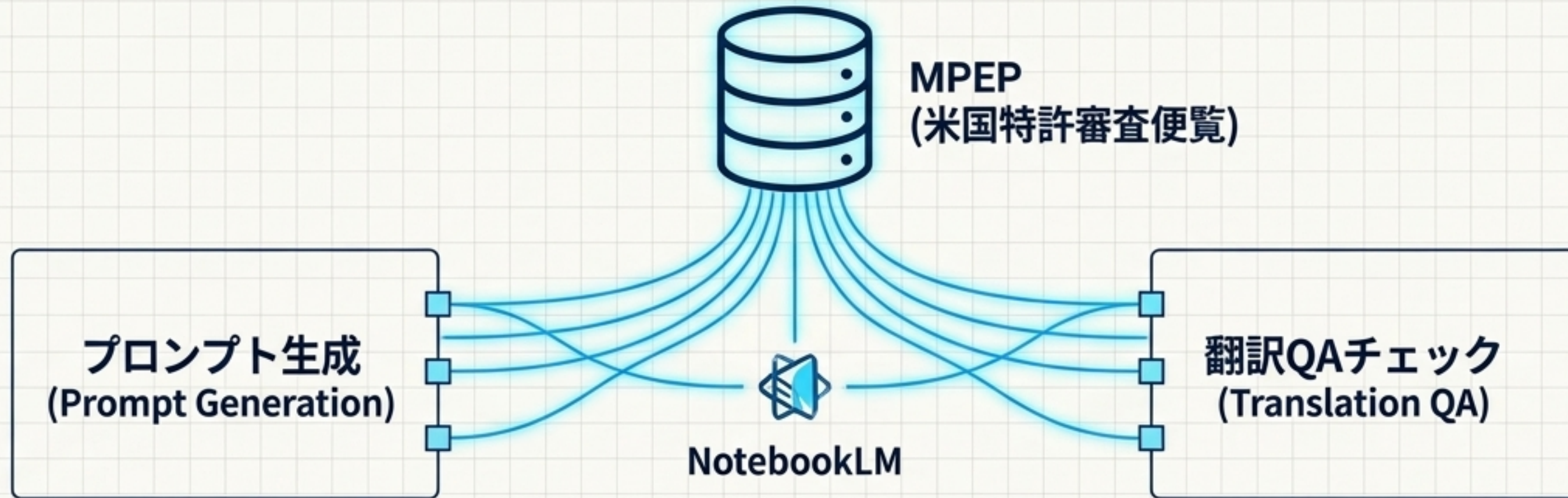
セクションごとの能動態・受動態の指定、主語の明示。

**[PREREQUISITE]** 厳密なスタイルガイドを持たずに生成AIに特許文書を渡すことは、極めて流暢に話す小学生に法的契約書の作成を委ねるのと同じである。

<b>要素 (Element)</b>	<b>AIの典型的な誤り (Common AI Mistake)</b>	<b>人間のチェックポイント (Human Checkpoint)</b>
<b>移行句 (Transitional Phrases)</b>	<b>AI:</b> composed of 等を 無自覚に使用	<b>専門家:</b> 権利範囲を狭めない よう comprising を指定。
<b>相対的表現 (Relative Terms)</b>	<b>AI:</b> best operator など 直訳	<b>専門家:</b> §112(b)違反を回避 するため characteristic 等へ変換。
<b>先行詞の基礎 (Antecedent Basis)</b>	<b>AI:</b> a と the の一貫性 欠如	<b>専門家:</b> 構成要素の導入か ら従属クレームまでの論理 トレース。

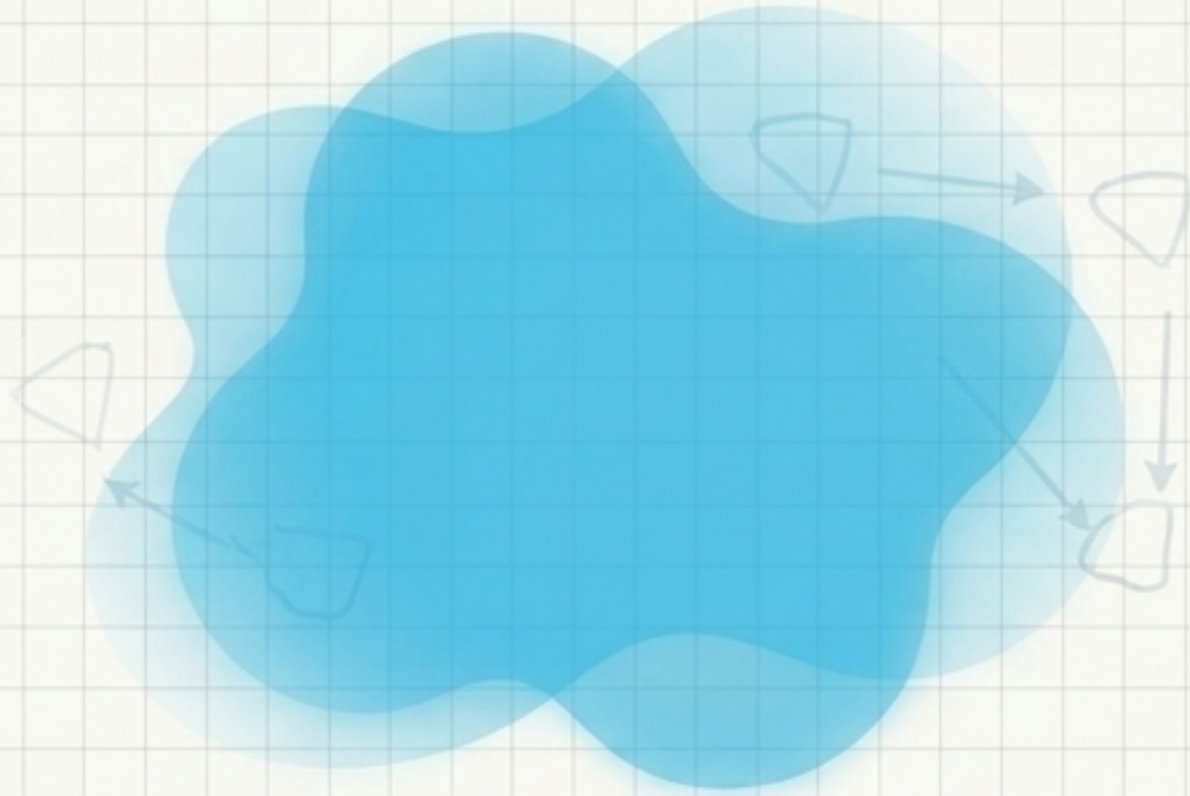
セクション (Section)	AIによる劣化リスク (AI Degradation Risk)	専門家の介入点 (Expert Intervention)
実施形態 (Embodiments)	AI: 文末の動詞に合わせて受動態を多用し、主語を曖昧化	専門家: 既出の構成要素を主語に配置し、能動態で明確化。
背景技術 (Background)	AI: Even when... if... required for... と構文を複雑化	専門家: request 等を使用し、強い法的要件に見えないよう簡素化。
語彙のレベル感 (Lexical Tone)	AI: 文全体を不必要に難解し、専門用語の粒度を無視	専門家: 動詞は軽く、名詞(専門用語)は厳密に保持。

# Data Grounding



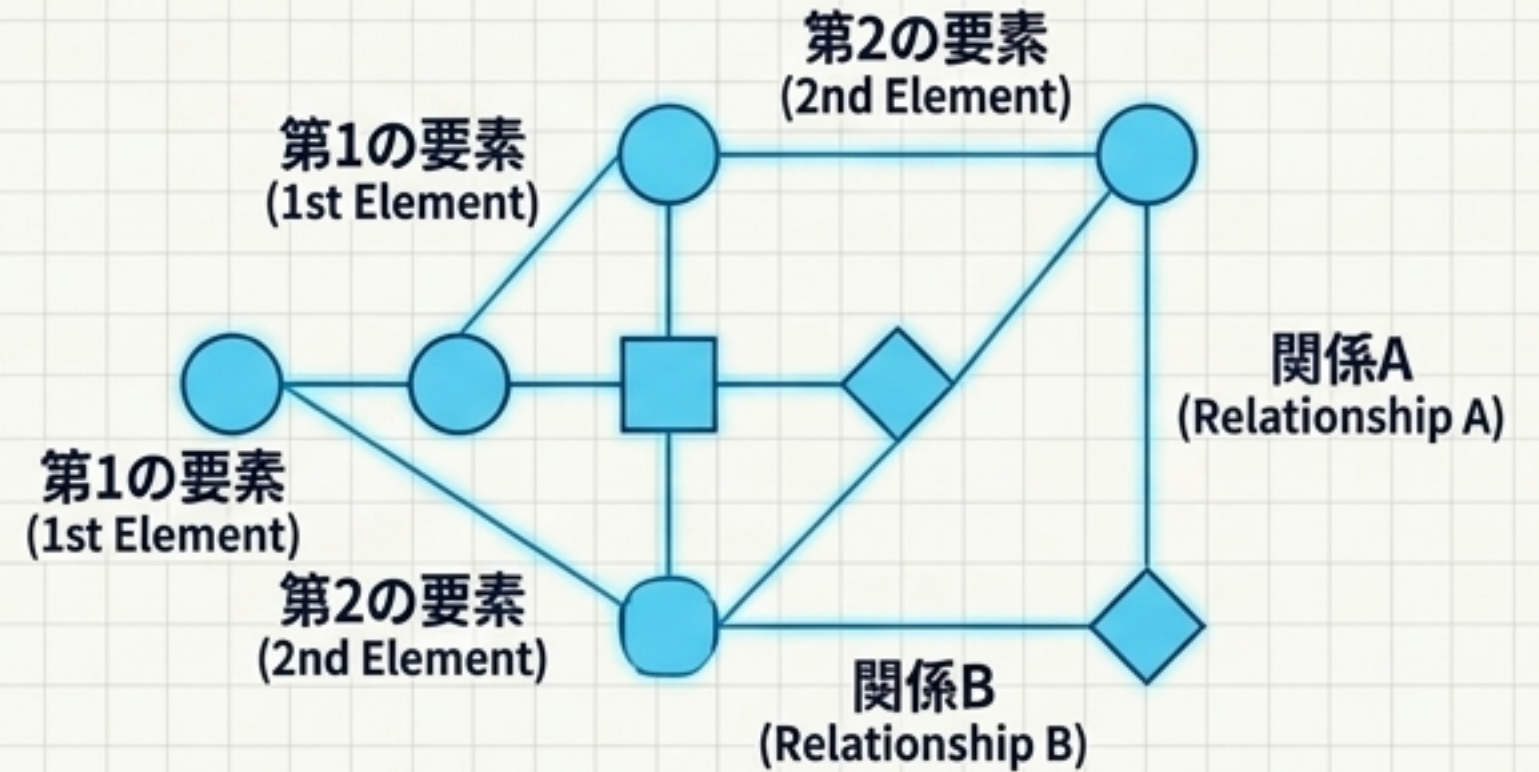
- 翻訳者の「勘」に頼るのではなく、米国審査基準に根差した判断を行う。
- 例：composed of がスコープを限定するかどうかをMPEPに直接クエリし、根拠のあるスタイルガイドを構築する。
- 拒絶理由通知（Office Action）の傾向を学習させ、自社専用の最強のQAツールを構築。

## 従来の和文クレーム (Traditional Japanese Claim)



曖昧な境界、暗黙の複数形、高コンテキスト。

## グローバル対応和文 (Global-Ready Japanese)



明示的な複数形（第1の～、第2の～）、論理演算子への配慮、明確な対応関係（1対1か、複数対複数か）。

[UPSTREAM OPTIMIZATION] AIを活用して海外出願を行う場合、和文ドラフティングの段階で「英語化された際の論理構造」を完璧に想定しておく必要がある。

# Global IP Strategy

## Step 4: 選別 (Triage)

標準案件はAIハイブリッドへ、重要・コア特許は専門家のフルマニュアル翻訳へ振り分け。

## Step 3: 人材育成 (Train)

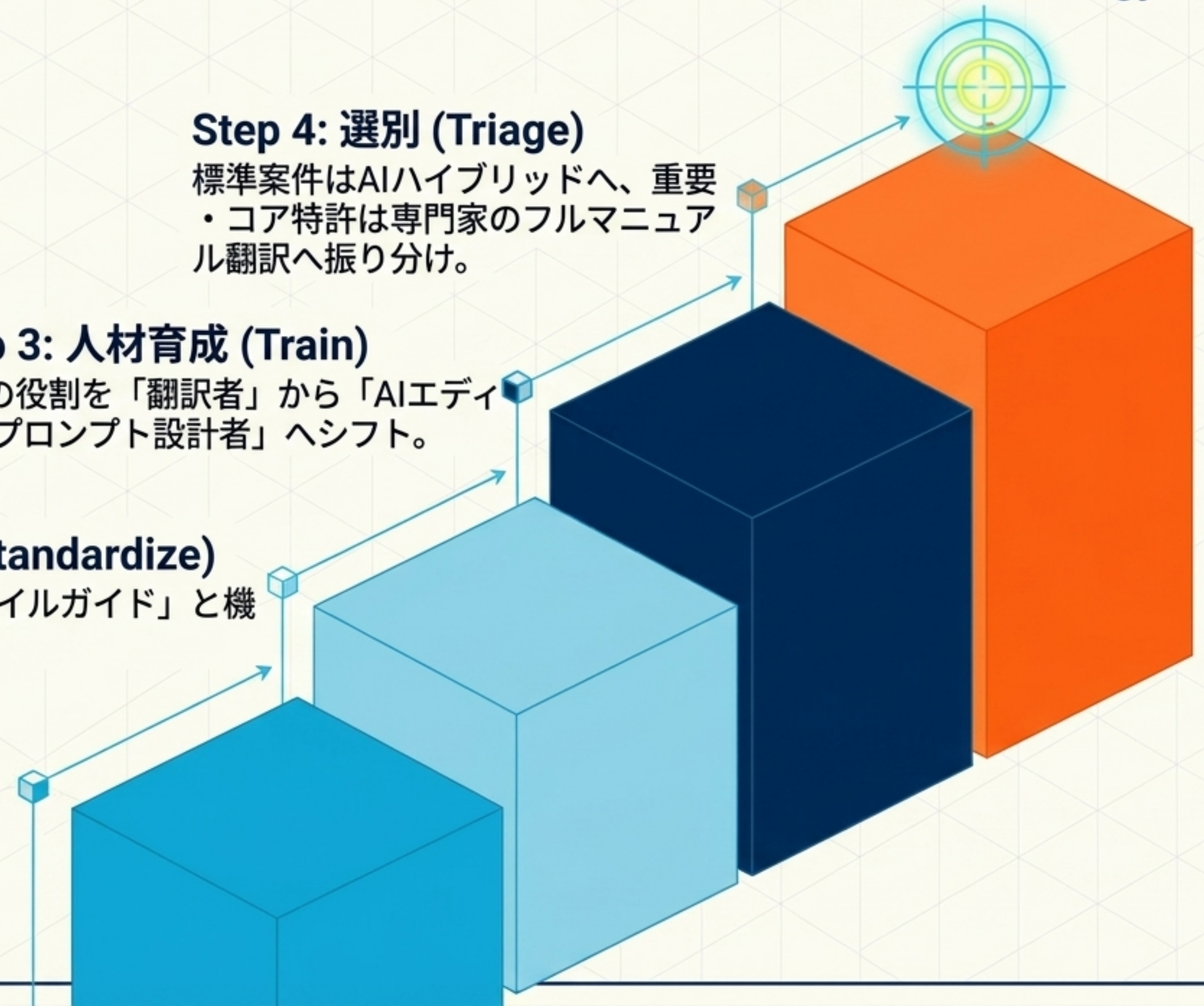
人間の役割を「翻訳者」から「AIエディター/プロンプト設計者」へシフト。

## Step 2: 標準化 (Standardize)

自社専用の「翻訳スタイルガイド」と機械向けルールの策定。

## Step 1: 現状把握 (Assess)

過去の翻訳品質の監査（§112拒絶の要因分析）。



# 「生成AIは『翻訳』を効率化するが、 『権利化』を保証しない。」



日本のグローバル知財競争力を守るためには、  
専門家がAIを「作業ツール」として使いこなし、特許のスコープと品質を最大化する  
「戦略的オーケストレーター」へと進化しなければならない。